

Myuと出会ってキラキラした自分になれた



住民劇団演劇ファミリー Myu

せきうち かつや
関内勝也 さん

演劇に対する熱い思いを
話す関内さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.168

やさしい雨に似合う花・紫陽花。紫陽花は世界中で品種改良が行われ、現在では200種類以上の品種が存在しているそうです。庭に咲いている花を眺めても、水に浮かばせて『水中花』として楽しんでもいいですね。今回は、住民劇団演劇ファミリーMyuのメンバーで、かすみがうら市にお住まいの関内勝也さん取材します。

関内さんにMyuに入ったきっかけを聞いてみました。「Myuを知ったのはおじいちゃんを亡くして1年も経たない頃、仕事も転職したばかりで、自分の人生がうまくいかない時期でした。そんな時、地元の図書館でMyuがワークシヨップを開くというチラシを見つけた。チラシに載っている写真がキラキラと輝いて見えたので思い切って、みの〜れに電話をしてみました。舞台に立つ自信が無かったのですが、『練習には参加しても本番の舞台には立たなくても大丈夫ですか?』と、当時担当だった職員さんに聞いてみました。『練習だけでも大丈夫ですよ。まずは参加してみませんか?』と言ってもらえて参加した感じです」と関内さん。

また、関内さんは練習を重ねていくうちに心の中が変化していったと言います。「セーラームーンのミュージカルに出演していた女優さんのファンで、舞

台の上でキラキラ輝いている彼女のようになりたくて、本番の舞台に立つてみようかなと思うようになりました」と話してくれました。

今年3月に公演した『わが家の天ぷら』が、Myuに入団して初めての舞台だった関内さん。その役はなんと、飲んだくれのお父さん。「飲んだくれのお父さんの役をやることになって、飲んだくれのお父さんの気持ちに分からなくて・・・うだつの上から弱い弱つちいお父さんを創ってほしいと言われても、未知のキャラクターだったので本筋に役作りが大変でした。もうだめなんじゃないかな?という思いが強くなっていましたね。本番1か月前にMyuのメンバーが励ましてくれたり、アドバイスをもらったりして、なりきろう!舞台上では役なんだと思いつ込んで本番を迎えることができました」と関内さん。

初舞台の感想を聞いてみました

た。「自分にとって偉業を成し遂げた感じです。私らしい頼りないお父さんを創り上げることができて本当によかったです。難しい役を演じることができたので、この先、どんな役でもできるという自信に繋がりました。ワークシヨップのチラシに出会っていなかったら、今みたいに演劇をやっていなかったと思います。なのでMyuとの出会いは運命的だったと思います」と笑顔で話してくれました。

現在はみの〜れ主催の演劇ワークシヨップ「僕と、君と、演劇と」に参加されている関内さん。「私は全体練習に加え自主練習をするタイプなのですが、このご時世だとなかなか練習場所がないのが悩みの種ですね。人目を気にせず伸び伸びと練習する場所が無いのは痛いですが、7月25日の成果発表に向けて全力をかけて取り組んでいきたいと思えます」と話してくれました。

(藤田佐知子)